

活用イメージ

1. Word上に表が記載されている場合
の数値チェック

Word上に、オブジェクトで作成された表が記載されている場合、全ての表を自動的に読み込みます。

表データが読み込まれた後、Wordファイル上の請求項(実施形態)において、数値限定された記載箇所をドラッグし、「選択テキストと表との照合」をクリックします。

表データの配列が縦方向なのか、横方向なのかを選択します。
※ 配列の方向を選択すると、上記任意の箇所をもとに、その列(行)の他データにも情報を自動付加します。

数値限定範囲外のデータを赤ハイライトしますので、実施例・比較例サンプルとして問題がないかどうか、確認します。

| 鋼記号 | C | Si | Mn | Al | P | S |
|-----|------|------|-----|------|------|-------|
| A | 0.11 | 0.02 | 4.4 | 0.02 | 0.01 | 0.003 |
| B | 0.02 | 0.02 | 4.5 | 0.03 | 0.01 | 0.003 |
| C | 0.36 | 0.02 | 4.8 | 0.03 | 0.01 | 0.003 |
| D | 0.13 | 0.11 | 4.6 | 0.02 | 0.01 | 0.003 |
| E | 0.12 | 0.31 | 4.7 | 0.03 | 0.01 | 0.003 |
| F | 0.11 | 0.49 | 4.5 | 0.03 | 0.01 | 0.003 |
| G | 0.12 | 0.02 | 3.7 | 0.03 | 0.01 | 0.003 |
| H | 0.11 | 0.03 | 6.2 | 0.02 | 0.01 | 0.003 |
| I | 0.11 | 0.02 | 8.1 | 0.03 | 0.01 | 0.003 |
| J | 0.12 | 0.02 | 4.6 | 0.29 | 0.01 | 0.003 |
| K | 0.11 | 0.03 | 4.5 | 0.99 | 0.01 | 0.003 |
| L | 0.12 | 0.02 | 4 | | | |
| M | 0.11 | 0.03 | 4 | | | |
| N | 0.12 | 0.03 | 4 | | | |
| O | 0.12 | 0.02 | 4 | | | |
| P | 0.11 | 0.03 | 4 | | | |
| Q | 0.12 | 0.02 | 4 | | | |



2.表がExcel等の テキストの場合の数値チェック

数値を抽出。
その後抽出した数値と、請求項
(実態形態)との照合。

クリック

表データのコピー

Excel等から取り込む表データの範囲をクリップボードにコピーしてください。
コピーされましたら、OKボタンをクリックしてください。

Excel等で作成された表データ中
を範囲指定してコピーした後、
「OK」をクリックします。

Excel等で、項目を含めてデータ
範囲をドラッグ & コピーします。

範囲コピーした表データの配列が、
縦方向なのか、横方向なのかを
選択し、「OK」を押します。

【書頭名】特許請求の範囲
【請求項1】
質量%で、C:0.03~0.35%、S1:0.01~0.50%、Mn:3.6~
5.0%、Al:0.01~0.1%、P:0.01%、S:0.01%を含有し、残
部がFeおよび不揮発性不純物からなる鋼を請求する際に、加熱処理では、焼鈍
炉内温度:450℃以下Aで以下の温度域を、焼鈍炉内温度:700℃以上、かつ、焼鈍炉内での
鋼板表面到達速度は600℃以下700℃以上、加熱速度が600℃以上700℃
以下の温度域における鋼板通過時間
以下の範囲内において、鋼板の厚さを0.1mm以上1.0mm以下とする。

数値データが読込(左図黄色ハイライト)
された後、Wordファイル上の請求項(実
施形態)において、数値限定された記載
箇所をドラッグします。

抽出した数値に情報
を付加します。

抽出された数値に単位を付加し、数値に
関連するキーワードを入力します。

※請求項・実施形態で
認識可能な表現
「以上」「以下」「超」「未満」「乃至」
「~」「<」「>」「≦」「≧」
(鋼)フィルムの厚さが0.1mm以上...
(鋼)合計重量が200kg超...
(鋼)含有率が0.1重量%以上0.5重量%未満...
(鋼)含有率が0.1~0.5重量%...
(鋼)混合物Mの含有量がM<0.25wt%...
(鋼)混合物Mの含有量が0.15<M≦0.45重量%...

数値限定範囲外のデータを赤ハイライトし
ますので、実施例・比較例サンプルとして問題がな
いかどうか、確認します。



3.表がイメージ（画像）の場合の数値チェック

表読み込は、画像化された表がWord上に貼り付けられていることが条件です。

任意の1か所を右クリックし、抽出した数値に情報を付加します。

数値を抽出する表を選びます。(複数選択可)

表データの配列が縦方向なのか、横方向なのかを選択します。
※配列の方向を選択すると、上記任意の1か所をもとに、その列(行)の他データにも情報を自動付加します。

表チェック

表番号: 表

表読み込 削除

表テキスト
表イメージ

数値抽出対象表の選択・設定

数値抽出対象の表を選択し、表の方向を数値の向きに合わせてください。

【表1】

【表2】

この表の数値を抽出する

この表の数値を抽出する

画像回転 拡大表示

画像回転 拡大表示

全選択 全解除

OK キャンセル

表チェック

表番号: 表 1 (イメージ)

表読み込 削除 表メニュー

| T/D (N/(m・m)) | 成膜時透明 層厚基材温度 (°C) | 酸化インジウム と酸化鉛質量 比 | 70°C8時間 アニール後 結晶化度 (%) | 140°C45分 アニール 後結晶化度 (%) | 後 |
|------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------------|----------------------------------|---------|
| 2.2 | -20 | 95:5 | 14.7 | 99.9 | |
| 2.0 | -20 | 95:5 | 23.4 | 99.4 | 150 |
| 2.0 | -20 | 95:5 | 10.5 | 96.3 | 1.2 |
| 3.0 | -20 | 95:5 | 24.5 | | |
| 3.0 | -20 | 95:5 | 11.1 | | |
| 1.8 | -20 | 95:5 | 25.1 | | |
| 1.8 | -20 | 95:5 | 11.0 | | |
| 3.2 | -20 | 95:5 | 24.7 | 99.7 | 103 1.2 |

任意の1か所を右クリックし、抽出した数値に情報を付加します。

表情報の指定

項目と数値の並び

縦方向

横方向

OK キャンセル

チェッカー版 Word add-in typeCHEM

さらに抽出した数値の任意の
一カ所に、情報を付加します。

表情報編集

下のイメージに表示されている数値情報を入力してください。

10.5 数値: 10.5 単位: %

キーワード
70℃6時間アニール後の結晶化度

除外ワード
【書類名】特許請求の範囲
【請求項1】

抽出された数値に単位を付かし、
数値に関連するキーワードを入力
します。

Wordファイル上の対象請求項
ドラッグします。

【書類名】特許請求の範囲
【請求項1】
ポリカーボネートフィルムの片面または両面に、少なくとも一層の酸化インジウムと酸化スズを主
とした透明導電層を設けた透明導電性積層体において、該透明導電層が下記条件 (A) ~
(C) を満足することを特徴とする透明導電性積層体。
(A) 70℃6時間アニール後の結晶化度が30%以下である。
(B) 140℃45分アニール後の結晶化度が80%以上である。
(C) 130℃90分アニール後の表面抵抗値、かつR_aと140℃45分アニール後の
が、1.4以下である。

| | | | | |
|-------|------------------------|-----|-----|-----|
| 実施例22 | 1.2 × 10 ⁻⁴ | 310 | 103 | 3.0 |
| 実施例23 | 1.2 × 10 ⁻⁴ | 330 | 103 | 3.2 |
| 実施例24 | 5 × 10 ⁻⁵ | 230 | 103 | 2.2 |
| 実施例25 | 5 × 10 ⁻⁵ | 230 | 103 | 2.2 |
| 比較例1 | 4 × 10 ⁻⁶ | 100 | 103 | 1.0 |
| 比較例2 | 5 × 10 ⁻⁵ | 100 | 103 | 1.0 |

選択テキストと表との照合

クリック

表チェック

表番号: 表 1 (イメージ) 表読み 削除 表メニュー

| T/D (N/(m ² ·m)) | 成膜時透明 積層基材温度 (℃) | 酸化インジウム と酸化スズ質 比 | 70℃6時間 アニール後 結晶化度 (%) | 140℃45分 アニール 後結晶化度 (%) | 130℃90分 アニール 後表面抵抗値R _a (Ω/□) | R _b /R _a | フィルム シワ有無 | 140℃45分 アニール 後クラック有無 |
|--------------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--|--------------------------------|--------------|----------------------------|
| 2.0 | -20 | 95:5 | 28.7 | 99.5 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 3.0 | -20 | 95:5 | 29.4 | 99.8 | 150 | 1.3 | ○ | ○ |
| 3.2 | -20 | 95:5 | 28.3 | 99.3 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 2.0 | -20 | 95:5 | 3.3 | 83.0 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 3.0 | -20 | 95:5 | 3.6 | 82.4 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 3.2 | -20 | 95:5 | 3.4 | 82.5 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 2.2 | -20 | 97:3 | 22.2 | 98.7 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 2.2 | -20 | 92:8 | 19.9 | 98.7 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 1.0 | -20 | 95:5 | 42.5 | 99.3 | 149 | 1.3 | ○ | ○ |
| 1.0 | -20 | 95:5 | 10.2 | 99.0 | 149 | 26.8 | ○ | × |
| 1.0 | -20 | 95:5 | 2.6 | 71.3 | 351 | 19.8 | ○ | × |

数値限定範囲外のデータを赤ハイライト
しますので、実施例・比較例サンプルとし
て問題がないかどうか、確認します。